

前進!! 対話の市政

皆川おさむ

コロナ対策待ったなし&これからの政策

コロナ禍 を越えて

私たちの城下街には、3つの日本遺産、豊かな自然、食文化があります。そして誰ひとり取り残さないあつき民情があります。10年間の街づくりビジョン「第2次鶴岡市総合計画」を対話の市政で加速・前進させます。東北一広い6つの地域からなる創造と伝統の街・鶴岡をSDGs未来都市のフロントランナーにします。



8月18日 吉村美栄子県知事にワクチン供給についての要望

待ったなし 切れ目のないコロナ対策

令和2年3月の一斉臨時休校から今なお影響が続く新型コロナウイルス感染症。医療従事者を支え、市民の命を守る使命を全うします。

(1) ワクチン接種

対象市民の約6割(1回目、8月末)が接種も、国からの供給に遅れが。安心して正月を迎えるため、10月末までに対象市民8割分のワクチンを確保。8月30日(9箱)、今後の9月15日、22日の追加配分を踏まえ、接種を推進。

(2) コロナ追加経済対策

- ①8月20日に感染者が過去最多の18名に。医療従事者の危機感を共有し、市独自の特別警戒を発出。人流の抑制、積極的な受診・検査を推進。⇒感染者が大幅に減少
- ②宿泊療養施設の充実に向け、県に協力し対応。また、抗体カクテル療法の活用を推進。
- ③ペイペイ事業に代わる社会経済対策を検討、実施。3回目の支援金事業を検討中。

対話の市民党市政の前進!

今求められるのは多様性を認め合う市政です。

文化会館、ごみ最終処分場問題の様な「対話に欠ける市政」に戻しません! 市民目線で改革を前進させます!



皆川おさむ

5つの重点政策

皆川市政の下で令和元年度にスタートした今後10年間のまちづくりの指針（第2次鶴岡市総合計画）を実行、前進！

1

若者定住促進 新たな産業用地と200万円奨学金返済支援

県No.1の産業・ベンチャーの受け皿へ、近年分譲が進む大山に次ぐ用地の開発を推進。最大201.6万円支援「つるおかエール」と併せ、若者の定住を促進。

2

子育て世代応援 学校給食費第2子も無償化

第3子以降（平成30年度～無償化）に加え、第2子も無償化。5小改築への学童併設に加え、3小学区、京田の学童施設改築等、子育て世代に選ばれる街へ。

3

誰ひとり取り残さず命と暮らしを守る 地域医療福祉充実

非正規から正規雇用への転換、障害者雇用促進、医療的ケア児・ヤングケアラー支援、高齢者等移動手段・除雪支援の充実、地域医療提供体制の抜本的改革推進

4

未来基金で地域を応援 過疎対策の司令塔へ朝日庁舎改築

地域まちづくり未来基金、小規模修繕を更に使いやすく充実。鶴岡・藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海、各地域の個性を活かした自立分散型のまちづくり。

5

新給食センター、新図書館構想 更なる市民参画まちづくり

第3中学区体育施設に第2コミセン併設、藤島中学校を含む文厚エリア、栄・渡前等の防災等多目的施設、旧鶴岡病院・鶴岡南高校山添高の活用（市民プール、人工芝サッカー場等）などまちづくり構想の検討・推進。

コロナ禍・市長給与 3割カット継続

新文化会館論争に終止符を打つ1期目の市長公約を踏まえ、給与44%カット（平成31年1月～）中。市長給与3割カットを継続し、コロナ苦境の市民・事業者の皆様に寄り添い前進！

行政改革と両立 市政への思い

鶴岡市の一般会計決算は、令和元年度・2年度、連續で黒字を確保。また、荘内病院は新病院建設以来初めての黒字に。施策展開とデジタル化を含む行政改革の両立は当然のこと。コロナ禍の今、また第2次鶴岡市総合計画（2019→2028）の実現が道半ばの中、複雑な総合行政・市政の全体を理解する市長を変えることは市民にとっての損失です。前市政から引き継いだ課題を解決し、山形県沖地震を乗り越えてきました。自らの強い信念で、誰ひとり取り残さない対話の市民党市政を前進させます。

後援会長あいさつ

山形県沖地震、令和2年7月豪雨、そしてコロナ対策。引き継いだ文化会館問題で給与を44%もカットしながら、市民のために全力で取り組む皆川おさまさん。クラゲ以上に応援しています。

皆川治後援会会長 村上龍男



対話で鶴岡を元氣にする会

Tel 090-0802 山形県鶴岡市伊勢原町25-3
TEL 35-1450 FAX 35-1451
E-mail : osamuminakawak@gmail.com

皆川おさむ後援会情報はこちら

《プロフィール》

皆川 治

昭和49年10月3日 鶴岡市森片生まれ

鶴岡市長（一期目）

庄内開発協議会会长

DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー理事長



ホームページは
こちらから



SNSはこちらから